

## 図書館この1年



この1年も図書館情報センターにとって変化の多い年であったと思います。平成22年3月に図書館情報センター(日進キャンパス)、歯学・薬学図書館情報センター(楠元キャンパス)間のシステム管理が一元化され、両館の蔵書約100万冊を一度に検索できるなど、利用便宜性が格段にアップしました。更新直後は学生が春休みでもあり、それほど利用も多くなかったのですが、4月に入り図書館オリエンテーションも本格的に開始されるとともに、利用者が急増しています。不具合も発生し、ご迷惑をおかけしましたが、徐々に解消し、「マイページ」の利用も増え、大変好評に利用されています。

2階閲覧室の一部に、ノートパソコン利用者のための電源を確保いたしました。場所は限られていますが、利用者が徐々に増えています。さらなる利用を希望します。

従来書庫内に検索端末が無かったため、利用者にご不便をかけていましたが、旧書庫各層に端末を設置しました。学部学生の方も一定の条件をクリアすれば書庫内に入れるため、さらに利用が増えるのではないかと思います。

地階と1階に分かれていた事務室を地階に集約することによって、生まれた空間を有効利用するための改修工事を行うとともに、1階にあった館長室を事務室に近い場所に移動させることによって、職員間の連携がさらに図れるようになりました。また利用者の方の目に触れることはないのですが、図書館では長年雨漏りに悩まされてきました。その都度応急修理をしまいましたが、ようやく本格的な工事が実施されました。本の大敵の一つである水の問題が解決され、大変嬉しく思っています。

新館1階エントランスに展示されている石像用にスポットライトを設置いたしました。平成23年2月には石像の反対側に新たなオブジェが展示され、出入口付近が一層華やかになりました。

平成22年は柳田国男の『遠野物語』刊行100周年記念の年にあたり、11月に日進市立図書館との共催で、本図書館所蔵の16巻映画映写会等を実施し、多数の方にお越しいただきました。今後もこの文化イベントが継続できればと思います。

本学では、3年に1度学生を対象に生活アンケート調査を企画し、6月に実施されました。図書館に関する項目もあり、今後の運営の参考に活用いたします。7ページに調査結果の一部を記載しております。

最後に、2期4年間に渡り館長の任にあられた文学部大野教授より、平成22年4月商学部寶多教授に交代致しました。前号の館長の言葉にありますように、まだまだやるべきことは多くあります。利用者の立場に立って図書館サービスを進化させてまいりますので、一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。(大平記)